

つめ

つめがふるうは動物を午をうか

かりて爪をどきにしはことばの

つめの形がよいと云ふは是と云ふは

つめは云々を甚諱があらうは

美容を致へ行つたは云々

セッとは必要なるは云々

アトトは云々

若いころおしやれのりもりで

つめを

つめに注目するようになつたは

爪へおの爪をすゝるなり

つ

つめに注目するようになつたは

爪のつ下に血がはじんで

爪のつ下に血がはじんで

わかうまいは痛くも

そがうちを赤くせうと

それがとくもあかしい

らん葉をもうつた

